



Title	大阪大学低温センターだより No.16 裏表紙
Author(s)	
Citation	大阪大学低温センターだより. 1976, 16
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/21884">https://hdl.handle.net/11094/21884</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## 編集後記

お待ちかね、16号をおとどけします。長谷田編集長のモットー、「小学生にもわかるように」が編集委員は勿論、著者の方々にも御理解いただきて、毎号興味深く、わかりやすく、しかも格調の高い話題を提供しているものと自負しています。今号トップの藤田先生、今年5月のいちよう祭の時、公開された超高圧電子顕微鏡の前で自ら説明役を買って出られ、御自慢の「生物を生きたまま観測できる」というキャッチフレーズの説明には泳いでいる魚の絵がありました。まさに我が「センターだより」のモットーにぴったり。しかも今回の原稿には万人向きの解説の中にもキラッと光る何か（藤田先生の表現）がちゃんとおさめられています。転位のダイナミックスは最新の御研究だそうで貴重なデータは表紙にかざらせていただきました。編集会議の席では写真提供者の苦労も知らないで「もっとコントラストは強くならないのかな」とか「四枚もいらないだろう、一枚だけにしよう」とか勝手な意見が出ましたが、原稿をいただきに上った山本編集委員が、藤田先生から「これはこの超高圧電子顕微鏡でないととれない貴重な写真であり、しかも転位のダイナミックスを見るには四枚組んでないと意味をなさない」と言われた旨報告があり一件落着。素人目に美しい写真をとるだけならばこんな3MVもの顕微鏡は不用とのことです。一同成程。

(本河記)

大阪大学低温センターだより 第16号

昭和51年10月発行

編集責任者 長谷田泰一郎

発行者 大阪大学低温センター

吹田分室 大阪府吹田市字山田上

電話 (06) 877-5111

内線 4105

豊中分室 大阪府豊中市待兼山町

電話 (06) 856-1151

内線 2562

印刷所 とうけん社

大阪市福島区海老江8丁目7番27号

電話 (06) 451-1061

代表 村上喜与志

